



新年のごあいさつ

笠間市長

山口 伸樹

新しい年を迎え、お慶び申し上げます。
ご家族お揃いで、健やかに新春をお迎えることと存じます。

昨年は、3月11日に発生しました東日本大震災により、多くの方々が被害にあわれました。被災されました皆様に、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

市としても、復旧・復興に向け全力で取り組んでまいります。

新年にあたり、本年の抱負を申し上げます。

安全・安心なまちづくりを目指して

東日本大震災により、笠間市でも住宅や民間の建物、公共施設、ライフライン等に大きな被害を受けました。市では震災直後から全力で応急復旧に努め、「がんばろう かさま」を合言葉に、職員一丸となり取り組んでまいりました。

現在、公共施設につきましては、笠間市民体育館、友部公民館体育室、ゆかいふれあいセンターなど一部の施設を除き、ほぼ復旧を終え、順次本格復旧を進めております。

また、今回の災害を教訓に、大規模な災害にも対処できるよう市内6箇所に拠点避難所を整備するとともに、災害時に大きな役割を果たした、地域の支えあいを基本とする自主防災組織の設立の促進、防災計画の見直し、学校施設をはじめとする公共施設の耐震化、市民の不安を解消するための放射線対策など、市民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりを進めております。

重要施策への取り組み

今年の経済状況を見通しますと、景気は緩やかながら持ち直す傾向にありますが、電力供給の制約や歴史的な円高による国内産業の空洞化、欧州債務危機による海外景気の下振れ懸念などにより、本市を取りまく財政の状況は大変厳しいものになると思われます。

市では昨年、第二次行財政改革大綱を策定し、今後6年間の改革方針を定めました。その指針を基に更に行財政改革を推し進めるとともに、昨年から本格導入しました行政評価外部評価などによる事務事業の見直し、重要施策への予算の重点的配分などを通し、将来にわたって持続可能な財政基盤の確立を図ってまいります。

重点施策につきましては、定住化対策、農業施策、健康都市づくり事業に積極的に取り組んでまいります。

定住化対策につきましては、急速な高齢化と生産年齢人口の減少という人口構造の変化の中、市では、6年前の合併時と比べ約2,400人の人口が減少しており、その対策は喫緊の課題となっております。少子化対策、住宅政策、企業誘致などに取り組み、定住化につながる施策を進めるとともに、観光行政を中心に交流人口の拡大にも取り組んでまいります。

また、農業施策につきましては、これまで、担い手の育成、主要生産物の生産振興、農産物のブランド化の推

進などを重点的に取り組んでまいりましたが、それらの対策に耕作放棄地の解消や経営基盤の強化、専業農家への支援、栗のブランド化などを加え、引き続き取り組んでまいります。

健康都市づくり事業につきましては、地域医療体制の充実や政策医療の実施、健康づくりに関する施策、市立病院の充実など、市民の健康と医療費の抑制につながる事業に取り組んでまいります。

また、市民が相互に支えあい、健康な生活を送り続けることができる安心と安全が確立された「健康都市かさま」の構築を目指し、その都市づくりの取り組みを市民と行政が一体となって進めて行く運動の確たる理念として、今年3月に「健康都市かさま宣言」を行ってまいります。

本年は、10年間のまちづくりの総合的な指針となる、笠間市総合計画の折り返しの年となるため、現在、前期計画を検証したうえで、新たに健康都市づくり・防災力向上・地域の活性化の視点を取り入れた後期基本計画を策定しております。

震災の復興とともに、この新たな計画を実行に移し、職員一丸となって「みんなで創る 文化交流都市」の実現に向けて、市民の皆様と一緒に取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、今年1年の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、ごあいさついたします。